



学校だより

かさぎ3月号

令和5年3月

曾於市立笠木小学校



残心 (ざんしん)

校長

野村佳史

暖かな春の日差しが降り注ぎ、秋に蒔いたパンジーやシネリアの花がきれいに咲き始めました。まるで厳しい冬を乗り越えた喜びを表しているかのようです。令和4年度も、新型コロナウイルスによる感染がなかなか収束せず、教育活動も制限せざるを得ない状況が続きましたが、皆様方の御支援・御協力のおかげで、子供たちは大きく成長することができた一年でした。

さて、「残心」という言葉をお聞きになったことがある方もいらっしゃるのではないかと思います。これは、日本の武道において用いられる言葉で、**技を決めた後も心身ともに油断をしない心構え**のことです。たとえ相手が完全に戦闘力を失ったかのように見えても、それは偽りである可能性もあり、油断した隙を突いて反撃される恐れがあるかもしれません。それを防ぎ、完全なる勝利へと導くのが残心なのです。剣道では、意識した状態を持続しながら、相手の攻撃や反撃を瞬時に返すことができるよう身構えていることを残心と呼び、残心がなければ技が正確に決まっても有効打突になりません。また、残心を示すということは、相手を倒すことだけでなく、**闘った相手を敬う**ということにもつながっています。剣道の試合は、相手があって初めて試合が成立します。その対戦相手に対して、卑怯な態度やおごり高ぶった態度は、大変失礼であり、許されるものではありません。どんな相手であっても、相手があって、初めて技術が向上したり、学べたりすることも多くあるからです。いくら対戦相手であっても、相手を尊重する態度を失ってはならないのです。ですから、剣道の試合においては、一本取ったことを喜ぶ様子（ガッツポーズなど）が見受けられれば、おごり高ぶって残心が無いとみなされ、一本を取り消されてしまいます。ここに、対戦相手に対して、最後まで礼を尽くさなければならないという教えが剣道に受け継がれているのが分かります。また、**茶道においても残心は重要視**されています。江戸末期の大老井伊直弼の書いた「井伊大老茶道談」には「主客とも余情残心を催し」とあり、「お茶を飲み終えて退出の挨拶をした後、客は路地を出るまで大声で話したりせず、静かに後ろを振り返りながら出て行き、主人は客が見えなくなるまで見送るべきである。そして、客が見えなくなってもすぐに障子などを閉め立てたり、片付けを急いだりすることなく、しばらく茶席に立ち戻って一人静かに座るべきである」と書かれているそうです。残心には、一つのことをなし終える際にも余韻を残して終えるという**相手への思いやりや、心のゆとりの大切さ**が説かれているように思えます。私たちが子供の頃、開けたドアは最後まで静かに閉める、湯飲みやコップなどは静かに置く、いただき物は両手で受け取るなど、繰り返し厳しく躡けられた意味が、残心を知ることによって、分かってきたような気がします。

そこで、少し強引ですが、学校教育から残心について考えてみたいと思います。私たちは、「未来に向かい、学び続ける笠木の子」を学校教育目標に掲げ、「にこにこ はきはき 生き生きと 共にやり抜く 笠木の子」というキャッチフレーズの下、教育活動を推進してきました。学校という舞台上、子供たちは、一人一人が主人公となったドラマを繰り広げ、その全ての経験を自分のものとし、確実に成長し続けています。その成長していく姿を見るのが私たち教師の一番の喜びです。そのために、常に私たちは、子供たちに寄り添い、よりよい指導法を模索し、実践を積み重ねています。もちろん、思ったとおりに進まないこともあります。うまくいかなかったときは、また別の改善策を考え対処していきます。教育に「あきらめ」とい言葉は存在しないのです。教師は子供たちが下校した後も、一人一人の顔を思い浮かべ、「今日はあの子は〇〇を頑張っていたな」「明日は〇〇をするために、△△しよう」と、心の中でつぶやき、今日一日をそっと振り返ります。このように、帰って行った子供たちのことに静かに思いを馳せ、次の教育へとつないでいく、これが、すなわち教育における忘れてはならない「残心」ではないかと思うのです。

いよいよ令和4年度ももうすぐ終着点です。保護者・地域の皆様方には、本校教育活動への御支援・御協力、本当にありがとうございました。令和5年度も私たち教職員は、子供たちのために、一丸となって「教師道」を邁進してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

最後になりましたが、温かな保護者・地域の方々に支えられて笠木小学校で勤務できたこと、そして、素敵な子供たちと出会えたことに心から感謝いたします。



鹿児島学習定着度調査結果

1月に実施した「鹿児島学習定着度調査」の結果が発表されました。本校では県平均に比べ、全ての教科で上回る結果となりました。しかし、「知識・技能」に対して「思考力・判断力・表現力」が低くなっています。特にデータから情報を読み取って考える力を高めていくことが課題となりましたので、今後の学習指導の中で力を高めるように取り組んでいきたいと考えています。

卒業
おめでとう

家入 琉誓さん
大石 力斗さん
逆瀬川 隼さん
永田 優斗さん
中根 千尋さん
原口 滉埜さん



3月3日（火）にお別れ集会を行いました。下級生からのプレゼントやメッセージをもらい笑顔の卒業生。優しくて頼りになる6年生が卒業するのはとてもさみしいですが、思い出を胸に後輩たちはがんばっていきます。今年度も規模を縮小しての実施となりますが、卒業生の門出を心からお祝いします。



ご卒業おめでとうございます！

4月の行事予定と目標

- 6日（木）新任式 始業式 入学式
- 7日（金）身体計測・聴力・視力検査
- 10日（月）1年生給食開始 集団下校
- 12日（水）知能検査・AAI
- 13日（木）内科検診 集団下校
- 14日（金）交通教室
- 18日（火）全国学力学習状況調査（6年）
- 19日（水）学習参観 学級PTA
PTA専門部会・総会
そおgood給食の日 PTA歓迎会
- 20日（木）NRT（～21日）
- 21日（金）家庭訪問Ⅰ
- 25日（火）心臓検診（1年） 家庭訪問Ⅱ
- 26日（水）眼科検診 家庭訪問Ⅲ
- 29日（土）昭和の日

生活目標

- きまりを守ろう

保健目標

- 自分の体の様子を知ろう

現時点での計画です。変更があるかもしれません。



芸術鑑賞会



3月2日（木）ピアニストの濱田千幸さんを迎えてピアノコンサートを行いました。「トルコ行進曲」や「ディズニー・メドレー」、野村校長先生のギター弾き語りとのコラボ本校児童の合唱、「愛の夢」や「バラード第1番」などのクラシックの名曲を聴いて、ピアノの魅力に引き込まれました。気持ちのやすらぐひとときになりました。



☆ 各種アンケート調査を通しての2月のいじめ関連の認知はありませんでした。